



2017年12月25日

大塚製薬株式会社
DKSH ミャンマー株式会社

【医薬品】海外での販売開始について

大塚製薬と DKSH ミャンマーで医薬品販売を開始

大塚製薬株式会社(本社:東京都、以下「大塚製薬」)と、ヘルスケア事業拡大をグローバルで推進する DKSH グループの DKSH ミャンマー株式会社(本社:ミャンマー ヤンゴン、以下「DKSH」)は、ミャンマーでの医療用医薬品の販売に関する契約を締結しました。これにより、大塚製薬は DKSH を通じて、大塚製薬創製の抗血小板剤「プレタール」および胃炎・胃潰瘍治療剤「ムコスタ」の販売を開始したのでお知らせします。

急速に拡大する東南アジア経済圏の中、ミャンマーの名目 GDP は 2014 年の 630 億米ドルから 2020 年までに 910 億米ドルを超えると予測されています^{*1}。また、同国では、将来の医療課題に備えた長期の健康開発計画として「Myanmar Health Vision 2030」が策定され、医薬品市場においても、2016 年の 371 百万米ドル^{*2} から、2021 年には 563 百万米ドルへと今後の大きな成長が見込まれています。

*1 World Economic Outlook Database, IMF, published in October 2017

*2 Myanmar Pharmaceuticals & Healthcare Report, Q3 2017, BMI Research, data taken from UN Comtrade.

大塚製薬は、世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造するという「Otsuka-people creating new products for better health worldwide」の企業理念のもと、人々の健康を身体全体で考えるトータルヘルスケアカンパニーです。医療関連事業では、世界中の未解決の医療ニーズを満たすため、中枢神経、がん、循環器・腎、眼科、結核等の領域を中心に事業を展開しています。

DKSH グループは世界 36 カ国でヘルスケア等の事業を拡大するためのサポートビジネスを展開しており、各国の特性に合わせたビジネスを推進する経験・知見が豊富です。特にアジアにおいては 750 の拠点を有し、市場調査、マーケティング、販売、物流などのサポート体制を構築しています。ミャンマーにおいても 1995 年から実績を積んでおり、大塚製薬がミャンマーにおける医薬品ビジネスを展開するための事業基盤を構築する最良のパートナーです。

今回の提携により、両社は、共同のマーケティング・セールsteamを立ち上げ、ミャンマー国内に向けた「プレタール」「ムコスタ」の情報提供と収集を行います。今後は、さらに大塚製薬が開発した革新的な医薬品をミャンマー国内に供給することで、製品価値の最大化、患者さんの治療に貢献してまいります。

会社概要

大塚製薬株式会社 (Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.)

設 立	1964年8月10日
資 本 金	200億円
代 表 者	代表取締役社長 樋口達夫 (ひぐち たつお)
本 社 所 在 地	〒101-8535 東京都千代田区神田司町2丁目9番地
従 業 員 数	5,627名(2016年12月31日現在)
事 業 内 容	医薬品・臨床検査・医療機器・食料品・化粧品の製造、製造販売、販売、輸出並びに輸入

DKSHホールディングス株式会社 (DKSH Holdings Ltd.)

設 立	1865年 グループの前身会社設立 2002年 DKSHホールディングス株式会社設立
代 表 者	CEO ステファン・P・バツツ(Stefan P. Butz)
本 社 所 在 地	P.O. Box 888, Wiesenstr. 8, CH-8034 Zurich, 3.Switzerland
従 業 員 数	30,320名(グループ全体)
展 開 国 ・ 拠 点	36カ国 (アジア 750拠点、ヨーロッパ、アメリカ 30拠点)